

令和4年度

個性ある区づくり推進費

決算

緑 区



令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業一覧

[単位:円]

No.	事業名	新規 重点	R04予算	R04決算	増△減	所管課	ページ
① 安全・安心なまち			17,757,000	18,038,957	△ 281,957		
1	災害に強いまちづくり事業	重点・拡充	7,997,000	8,000,253	△ 3,253	総務課、福祉保健課	4
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,820,000	1,730,300	89,700	地域振興課	5
3	交通安全対策事業		3,774,000	3,416,014	357,986	地域振興課	6
4	交通安全施設等整備事業		2,500,000	3,186,150	△ 686,150	土木事務所	7
5	暮らしの衛生推進事業		1,666,000	1,706,240	△ 40,240	生活衛生課	7
② いきいき暮らせるまち			21,742,000	18,373,319	3,368,681		
6	あんしん子育てネットワーク事業	重点	8,100,000	7,250,004	849,996	こども家庭支援課	9
7	保育所すこやか子育て支援事業		2,170,000	1,161,771	1,008,229	こども家庭支援課	10
8	DV対策・児童虐待防止事業		645,000	495,476	149,524	こども家庭支援課	11
9	青少年地域サポート事業		1,151,000	1,099,293	51,707	地域振興課	11
10	健康たうん・みどり推進事業		3,458,000	2,963,995	494,005	福祉保健課	12
11	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		4,295,000	3,961,555	333,445	福祉保健課	12
12	高齢者生きがい推進事業		463,000	258,446	204,554	高齢・障害支援課	13
13	障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業		460,000	354,987	105,013	高齢・障害支援課	13
14	地域特性データ集作成事業	新規・重点	1,000,000	827,792	172,208	高齢・障害支援課、福祉保健課	14
③ みどりの魅力あふれるまち			58,084,000	59,313,698	△ 1,229,698		
15	花と緑あふれるふるさと緑区事業	重点	5,000,000	5,529,006	△ 529,006	土木事務所	15
16	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業		3,000,000	1,683,550	1,316,450	土木事務所	15
17	魅力ある公園づくり事業	新規	1,000,000	1,236,656	△ 236,656	土木事務所	15
18	とれたてみどり地産地消推進事業 (令和3年度:みどり!まるごと応援事業)		2,867,000	2,409,636	457,364	区政推進課	16
19	みどり地域まちづくり推進事業		2,695,000	2,060,078	634,922	区政推進課	16
20	子どものまちづくりイベントMini Mini Midori		3,500,000	3,440,075	59,925	区政推進課	17
21	ふるさとみどり魅力発信事業	新規・重点	7,512,000	6,741,790	770,210	区政推進課	18
22	みどり環境行動啓発事業		1,000,000	822,635	177,365	区政推進課	19
23	読書活動推進事業		500,000	605,394	△ 105,394	地域振興課	19
24	緑・芸術文化事業		2,160,000	1,930,005	229,995	地域振興課	20
25	3R推進事業		2,258,000	1,781,262	476,738	地域振興課	20
26	きれいなまちづくり事業		2,498,000	2,798,641	△ 300,641	地域振興課	21
27	緑区商店街振興事業		2,706,000	2,668,500	37,500	地域振興課	21
28	区民まつり事業		5,600,000	5,591,633	8,367	地域振興課	22
29	地域振興事業		2,189,000	2,250,085	△ 61,085	地域振興課	22
30	市民活動パワーアップ支援事業		3,462,000	2,748,263	713,737	地域振興課	23
31	みどりスポーツ振興事業		1,854,000	1,684,500	169,500	地域振興課	24
32	広報・広聴事業		2,643,000	2,522,301	120,699	区政推進課	24
33	区民から親しまれる区役所づくり事業	拡充	5,640,000	10,809,688	△ 5,169,688	総務課	25
合計			97,583,000	95,725,974	1,857,026		

令和4年度 個性ある区づくり推進費決算 総括表

[単位：円]

区 分	R4予算額	R4決算額 【執行率】	差引額
1 自主企画事業 (33事業)	97,583,000	95,725,974 【98.1%】	1,857,026
(1) 安全・安心なまち (5事業)	17,757,000	18,038,957	△ 281,957
(2) いきいき暮らせるまち (9事業)	21,742,000	18,373,319	3,368,681
(3) みどりの魅力あふれるまち (19事業)	58,084,000	59,313,698	△ 1,229,698
【重点事業】 5事業 決算額 28,348,845			
◆災害に強いまちづくり事業 * (1) で計上	7,997,000	8,000,253	△ 3,253
◆あんしん子育てネットワーク事業 * (2) で計上	8,100,000	7,250,004	849,996
◆地域特性データ集作成事業 * (2) で計上	1,000,000	827,792	172,208
◆花と緑あふれるふるさと緑区事業 * (3) で計上	5,000,000	5,529,006	△ 529,006
◆ふるさとみどり魅力発信事業 * (3) で計上	7,512,000	6,741,790	770,210
2 統合事務事業費	44,622,000	40,613,563 【91.0%】	4,008,437
(1) 統合事務費	24,764,000	22,151,694	2,612,306
(2) 統合事業費	19,858,000	18,461,869	1,396,131
3 区庁舎・区民利用施設管理費	602,149,000	597,201,821 【99.2%】	4,947,179
(1) 区庁舎等 ※	108,832,000	104,973,311	3,858,689
(2) 地区センター等	439,110,000	438,960,667	149,333
(3) 公会堂	41,078,000	43,709,459	△ 2,631,459
(4) 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,010,000	4,297,537	2,712,463
(5) その他(広場・遊び場)	6,119,000	5,260,847	858,153
合 計	744,354,000	733,541,358 【98.5%】	10,812,642

※ 物価や燃料価格高騰の影響による区庁舎等の光熱費の増分の補正(2月)を含む(9,197,000円)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

① 安全・安心なまち

1 災害に強いまちづくり事業【重点・拡充】

予算：7,997,000円

決算：8,000,253円

避難場所における感染症対策を充実させるとともに、防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進しました。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 災害警戒体制早期確立のため、緊急時初動対応グループ研修を実施（4月11日）
- イ 災害時のコロナ対策を踏まえつつ、円滑に行動できるよう、区職員を対象に風水害研修及び区本部訓練を実施（6月、1月）
- ウ 区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保（9月）
- エ 発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するための資機材を購入し計画的な備蓄を実施（10月）
- オ 避難指示等に速やかに対応できるよう、指定緊急避難場所への持ち出し品等の物品を拡充（圧縮タオル、冷感タオル）

(2) 地域防災拠点等強化事業

- ア 高齢者等要援護者の拠点用備蓄品の購入
- イ 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点7月、12月）
- ウ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習
- エ 地域防災拠点運営委員会情報共有会の実施（2月）
- オ 新任運営委員を対象に基礎的な内容の避難所運営研修の実施（6月25日）
- カ 拠点の訓練などをコーディネートする参与に対し、研修を実施（5月9日・11日）
- キ 女性視点を盛り込んだ避難所づくりに必要な備蓄品の購入【新規】（間仕切りテント、防犯ブザー、人感センサーライト）



R4 地域防災拠点運営委員会情報共有会
（緑区役所）

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災ネットワーク運営委員会（4月22日）
- イ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月28日）
- ウ 防災ライセンスネットワーク会員への救命講習（上級）の実施（11月）
- エ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施（2月）
- オ 防災講演会の実施（3月11日 緑公会堂、講師：奥村 政佳氏）

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用し小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催
- イ 感染症禍でも現場の臨場感を体験できるように、小学校の新学習指導要領の改訂に合わせた、区役所の災害対策をまとめたDVDを配布
- ウ 小学校低学年を対象に、防災・減災へ興味を持つ入口として、出前防災講話を実施
- エ 自治会・事業者などを対象にマイタイムラインやARアプリ等を活用した減災行動の啓発や、感染症禍での在宅避難・避難場所以外への避難啓発の実施
- オ 地域が抱える防災に関する課題の解決を支援するため、地域防災拠点運営委員会や自治会等に専門家を派遣【新規】

(5) 各種マップの増刷

- ハザードマップ等各種マップの増刷

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練等の実施【災害時医療訓練及び研修会は中止】
- イ 保健活動グループの訓練の実施【中止】

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

(8) 外国人（要援護者）に向けた減災啓発事業【新規】

年々増加する外国人居住者に向けた防災マップガイドブック等を東洋英和女学院大学及びみどり国際交流ラウンジと連携して作成し、外国人向け防災啓発講座を開催（12月）



R4 外国人向け防災講座
(霧が丘地域ケアプラザ)

(9) 妊産婦（要援護者）に向けた減災啓発支援事業【新規】

- ア 妊婦や子どもを持つ家庭に向けた災害に備えての準備などをまとめたクリアファイルを作成し、母親教室等で配布
- イ 災害時用の離乳食を備蓄し、啓発用としても活用（もぐもぐ教室10回、乳幼児健診11回）

(10) 新型コロナウイルス感染症対策事業

地域防災拠点の新型コロナウイルス感染症対策として、間仕切りテント及びベッド等を購入

2 安全・安心まちづくり推進事業

予算：1,820,000円

決算：1,730,300円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行いました。

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

- ア 総会の開催（5月18日）
- イ 活動内容
 - (ア) 防犯パトロール物品等の提供
 - (イ) 啓発活動
 - a 警察と連携した特殊詐欺防止等キャンペーン
警察署主催の駅頭キャンペーンでの啓発チラシ配布（長津田駅：10月12日、十日市場駅：10月13日、中山駅：10月19日、鴨居駅：10月20日）
 - b 区民まつり出展（防犯クイズの実施、防犯啓発グッズ配布）（10月16日）
 - c 地域情報紙を活用した防犯啓発
 - (ウ) 防犯リーダー養成講座の開催（各連合自治会の防犯関係者対象）（2月24日50人）

(2) 特殊詐欺被害防止事業

防犯協会の防犯ポスターコンクールの入賞作品のうち、特殊詐欺に関する作品等について、バスラッピングによる啓発（12月17日～1月17日）



R4 特殊詐欺防止バスラッピング

(3) 情報提供・啓発の充実

- ア 緑区防犯情報メールの配信
緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで配信
- イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発
- ウ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実
情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

3 交通安全対策事業

予算：3,774,000円

決算：3,416,014円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進しました。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発を重点的に取り組みました。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月20日）

【総会は書面開催、功労者表彰式は人数を絞って開催】

イ 幹事会の開催（第1回：5月20日、第2回：8月18日、第3回：10月28日、第4回：2月10日）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

（ア）春の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（4月6日：鴨居駅周辺）

（イ）夏の交通事故防止運動（7月11日：十日市場駅周辺）

（ウ）秋の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（9月21日：緑公会堂「交通安全緑区民大会」）

（エ）年末の交通事故防止運動（12月9日：長津田駅周辺）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

（ア）駅前及び交差点での啓発（5月10日：中山駅）

（イ）登校時の高校生への啓発（5月12日：霧が丘高校、5月20日：白山高校）

（ウ）自転車駐車場での啓発（6月14日：鴨居駅・十日市場駅、6月21日：長津田駅、6月24日：中山駅）

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

（ア）シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催（第1回：6月2日、第2回：8月25日、第3回：11月1日、第4回：2月21日）

（イ）高齢者向け交通安全教室（交通安全シルバーリーダー研修会）の実施（1月27日）

イ 児童交通安全教育・対策

（ア）ランドセルカバー贈呈（4月）

新1年生へミドリンをデザインしたランドセルカバーの配付（贈呈式【コロナ中止】）

（イ）はまっ子交通あんぜん教室（児童交通安全教育）の実施

（5月27日：上山小、5月31日：霧が丘学園小、

6月1日：鴨居小、10月27日いぶき野小）

ウ スクールゾーン対策

（ア）スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施（4月25日）

（イ）スクールゾーン対策協議会への助成

（ウ）電柱巻標識、路面標示の新設・補修

電柱巻：新設1本、補修59本 路面標示：新設8か所、補修25か所

（エ）横断旗等の配布（1月）

配付希望のあった区内11小学校に対し、横断旗310本、旗缶23個配布



はまっ子交通あんぜん教室
（いぶき野小）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(4) 放置自転車対策

- ア 区内4駅の自転車等放置防止推進協議会の開催（7月13日：十日市場駅、7月22日：長津田駅、7月27日：鴨居駅、8月1日：中山駅）
- イ クリーンキャンペーンの実施（10月4日：十日市場駅、10月12日：鴨居駅、10月25日：長津田駅、10月28日：中山駅）

4 交通安全施設等整備事業

予算：2,500,000円
 決算：3,186,150円

「安全・安心なまち」の実現のため、生活道路やスクールゾーンを中心とした、市民生活に密接した箇所における歩行者の交通安全対策を実施しました。

(1) 交通安全施設等整備事業

- ア 日常の陳情やスクールゾーン対策協議会等による交通安全対策に関する要望の集約（4～7月）
- イ 交通安全対策実施予定箇所の選定（7月～8月）
- ウ 交通安全対策
 路面標示の新設、区画線・防護柵の補修の実施（9月～3月）

	整備内容	実施箇所
新設	路面標示（歩行者注意、速度落とせ等）	東本郷、北八朔町、長津田等
補修	区画線（外側線、中央線等）	上山、中山、霧が丘、北八朔町等



新設：路面標示（長津田）



補修：外側線（上山町）

5 暮らしの衛生推進事業

予算：1,666,000円
 決算：1,706,240円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方等について周知・啓発を図りました。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施しました。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(1) 食品衛生普及啓発事業

ア 飲食店の営業者及び調理従事者並びに区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施

小学校へ出張講座（4校、479人対象）により、子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発を実施

イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施

食中毒予防キャンペーン（8月～9月：18店舗、10月：緑区民まつり）

ウ 区庁舎3階モニターで食中毒予防啓発動画を上映（通年）

エ 区役所イベントスペースでのパネル等展示（8月3日～10日） R4 小学校へ出張講座（中山小）

オ 地域行事等における食品衛生知識の普及啓発

・広報よこはまにて地域行事主催者向け啓発記事の掲載（7月号）

・区民まつり出店者向け衛生講習会の実施（9月7日）



(2) 薬と健康の啓発事業

・広報よこはまへの記事掲載：違法なけしについて（5月号）

・区役所イベントスペースでのパネル等展示（5月30日～6月3日）

(3) 人と動物との共生事業

ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発

（ア）飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施（11月19日・26日）

（イ）窓口でのチラシ、糞持ち帰り袋等の配布

イ 動物愛護普及啓発

区役所イベントスペースでのパネル等展示（8月）

(4) 安心・快適な暮らし推進事業

ア 暮らしの中の虫相談

・虫の日（6月4日）にあわせ、衛生害虫啓発のパネル等の展示（6月）

・区民まつりでの展示（10月）

イ アシナガバチ等駆除器材の貸出（12件）

ウ 窓口モニターでの身近な虫（蚊及びハチ）に関する危害防止の注意喚起動画の上映

広報よこはまにハチ（5月号）及び蚊（6月号）に関する注意喚起の記事を掲載

(5) 災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

（ア）災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布

（イ）ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催（8月27日）

（ウ）区民まつりにてパネル展示、ペーパークラフト、チラシ等の配付（10月）

イ 地域防災拠点におけるペット受入れ態勢の促進

（ア）地域防災拠点へのペット同行避難スターターキットの配備

（ニーズに応じて+αとしてペットケージの配備）（6拠点）

（イ）拠点訓練でのペット同行避難訓練の実施、緑区獣医師会との協働による出前講座等の実施、ペット用非常持出品等の展示・紹介、飼い主間及び拠点との連携支援

ウ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、

防虫対策等の啓発



R4 ペット同行避難スターターキットを用いた一時飼育場所設営訓練（三保小）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

② いきいき暮らせるまち

6 あんしん子育てネットワーク事業【重点】

予算：8,100,000円

決算：7,250,004円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行いました。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供
(緑区役所 年12回実施)

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催
(14か所の会場で各9回 計126回実施 1,641人)

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施
(1日コース年9回、2日コース年3回、計12回)

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施
(個別相談21回、アンガーマネジメント研修1回)

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成(1団体)

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を実施

エ 緑区子育て支援者事業

地域の協力を得て、親子で集い、交流や情報交換ができる場作り(2か所)

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信(メールマガジン毎月1回配信)

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布(3月)

ウ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行(毎月1,000部)

エ 保育施設のご案内

保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内(5月2,000部、10月3,000部)、よくある質問に答えるリーフレットを発行

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

オ 乳幼児健診情報提供

乳幼児健診時等に子育てを支援する映像を放映

カ 放課後事業情報提供

放課後児童クラブと放課後キッズクラブの事業や、区内の各クラブを紹介するパンフレットを作成

(4) 新型コロナウイルス感染予防対策

安心して各事業の実施が出来るように、消毒液等、新型コロナウイルス感染予防対策用物品を購入

- ・空気清浄機やアクリルパーテーション（健診フロア・窓口）
- ・乳幼児用玩具等の消毒に使用する消毒液、除菌シート（赤ちゃん教室等用）

7 保育所すこやか子育て支援事業

予算：2,170,000円

決算：1,161,771円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めました。授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」、園庭やホールを開放し、地域の親子に利用してもらう「施設開放事業」などを実施しました。

また、「あつまれ！みどりっこまつり」の代替事業を実施することで、地域の保育ネットワークの連携を強化し、地域の子育て支援を推進しました。

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ！みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、公立園と民間園が協力し、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ることを目的としています。

令和3年度に、緑区オリジナル体操「ミドリンたいそう」を制作し、区内の公園8か所及び市立・民間保育園21か所で同日に楽しみました（分散開催 920人参加）。

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替えができるスペースを保育施設、市民利用施設に設置し、地域の親子に開放しました（49か所）。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎました。

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介等を行いました（5回）。

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出しや、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やしました（1,707冊）。

ウ 施設開放の拡充

十日市場保育園においても、育児支援センター一園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の施設開放（園庭開放・ホール開放）を実施し、子育て支援の充実を図りました（2,278人参加）。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

エ 離乳食ランチ交流【4月～中止】

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげました。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響によりすべて中止としました。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育みました。

8 DV対策・児童虐待防止事業

予算：645,000円

決算：495,476円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行いました。また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施しました。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施（年9回（17件）実施）

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修（3月）
（1回は新型コロナウイルスの流行で中止）

9 青少年地域サポート事業

予算：1,151,000円

決算：1,099,293円

次代を担う青少年の健全育成推進を目的に、環境づくり等、様々な取組を進めました。また、地域の青少年育成の担い手である市民活動団体等による活動に対して支援を行いました。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等が行う青少年向けの事業に対し、経費の一部を補助
（6月、9月（追加募集） 実績：3事業）

(2) 緑区青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

(3) 青少年地域サポート事業運営費

有害図書類の区分陳列に係る立入調査を実施（10月、3月）
全市統一行動キャンペーンに係る啓発物品を区民まつりで配布（10月）
区民まつりに協力できる小中学生ボランティアを募集し、地域交流を支援【中止】

(4) 区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業

東京工業大学と連携した小・中学生向け科学実験体験講座を実施（2月19日 小学生の部12人、中学生の部9人参加）



東工大と連携した科学実験講座
（長津田地区センター）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

10 健康たうん・みどり推進事業

予算：3,458,000円

決算：2,963,995円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防及び健全な食生活の実践に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、保健活動推進員、食生活等改善推進員等の地域の団体や関係機関と協働で啓発に取り組みました。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行いました。

(1) 健康づくり月間事業

健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月16日）

(2) 思いやり健康づくりの日事業【※コロナ感染拡大に鑑み、8月～9月中止】

健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発を含む）、推定野菜摂取量測定の実施（6回）（6月は食育月間キャンペーンと同時開催）

食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（5回）

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援（6月30日、7月13日）

(4) みどり食育実践推進事業

ア 食育月間・食育の日キャンペーン

(ア) 食育月間キャンペーン

食育月間（6月）に合わせ、体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯科相談、健康チェック、地場野菜の販売等の啓発を実施（6月21日 思いやり健康づくりの日と同時開催）

(イ) 食育の日キャンペーン【※コロナ感染拡大に鑑み、8月中止】

食育の日（毎月19日）に合わせ、体験型食事診断、歯科相談等による食育啓発を実施（5月11日、10月20日）

イ 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座を実施（9回）

ウ 緑をたっぷり召し上がれキャンペーン

食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（4回）

エ 平常時から考える食の備蓄

災害時に備えた食の備蓄の重要性を啓発リーフレット等で周知

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域場で、生活習慣病予防の動機づけを図る講座を実施（3回）

(6) 体験型がん啓発事業

がんの触診モデル等の使用・展示による幅広い対象に向けた体験型がん検診啓発を実施

11 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

予算：4,295,000円

決算：3,961,555円

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進・策定しました。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

また、ひとり暮らし高齢者等に対して見守りや訪問を行っている民生委員・児童委員の活動を支援しました。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

「みどりのわ・ささえ愛プラン」については、推進策定委員会の意見等を踏まえて、各地区共通の課題や区域の課題に対する取組を推進。各地区の計画については、地区別計画推進策定委員会等において推進に係る検討が進められるよう支援

- ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催（6月24日、3月10日）
- イ 地区別計画推進策定委員会の開催（11地区で各2回以上開催）
- ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月26日、2月20日）
- エ 第4期計画推進に係る報告書の発行及び講演会の開催（11月13日）
- オ 地区別計画の推進のための支援

(2) 民生委員見守り訪問事業

健康福祉局所管事業「ひとり暮らし高齢者等『地域で見守り』推進事業」への協力に際し、訪問予定者の状況を事前に確認することで、民生委員の負担を軽減しました。（9月、10月）

また、活動をサポートするため作成している「活動マップ」は、増員があった1地区について更新しました。（2月）

12 高齢者生きがい推進事業

予算：463,000円

決算：258,446円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進しました。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

- ア シルバーフェスティバル（3月3日 緑公会堂 参加者 305人）
- イ 囲碁・将棋大会（12月2日 緑ほのぼの荘 参加者 24人）

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

- ア 区民まつりにおける啓発グッズの配布（200個）
- イ 老人クラブ啓発用封筒の印刷（2,000枚）

13 障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業

予算：460,000円

決算：354,987円

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実させるとともに、障害福祉についての啓発を通して区民の障害への理解を促進しました。

(1) 共同販売の推進

- ア 区役所での共同販売の場の設定
みどりハートフルマーケット（参加14事業所 197日 延べ510事業所）
- イ 区役所販売PRチラシ作成（3月 1,600枚）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(2) 商品の魅力アップ支援

自主製品及び受注作業の魅力を紹介する冊子「ミドリビト」
(R2年度作成)を改訂(3月1,000部、緑区ホームページに公開)

(3) 障害理解の促進【新規】

障害者週間イベントを実施(12月1日～3日)

- ・スタンプラリー「みどり de ポンッ!」
参加:25事業所 来場者延べ200人
- ・福祉事業所の展示コーナー(12月7日～9日)
- ・みどりハートフルマーケットの拡大版(12月7日～9日)
参加:13施設



冊子「ミドリビト」

14 地域特性データ集作成事業【新規・重点】

予算:1,000,000円

決算:827,792円

令和2年国勢調査の数値等を活用し、地域の状況や課題の共通認識を持ち、地域特性(強み・弱み)に応じた事業を展開するためのデータ集を作成しました。またGIS(地理情報システム)を多用し、視覚的に分かりやすい資料となるよう図りました。

(1) 掲載項目

ア 緑区概要

人口・世帯数、土地・交通、マップ・分布図、クロス集計などの分類により掲載。

イ 各連合地区別

地区別に年齢別人口の動向と推計値、人口移動の状況、世帯類型の状況、標高地形図を掲載するほか、各町丁目別の人口・世帯数・年齢別人口の特性を掲載。

ウ オープンデータとして基礎データをCSVで掲載

(2) 公開方法

緑区ホームページ上に公開(令和5年8月)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

③ みどりの魅力あふれるまち

15 花と緑あふれるふるさと緑区事業【重点】

予算：5,000,000円

決算：5,529,066円

花と緑あふれるまちづくりを目指すため、街路樹の補植を実施し、道路の緑化を進めるとともに、公園愛護会やハマロードサポーター、自治会等の区民が交流を図りながら花苗講座を受講することにより花と緑を主体的に育てるサポーターを育成しました。



花と緑のサポーター養成講座
(緑土木事務所)

(1) 街路樹の補植

補植の実施(山下長津田線など)(8月～3月)

(2) 花と緑のサポーター養成講座

2グループに分けて実施(全10回)

公園愛護会、自治会等から41名受講

第1回：4月28日 第2回：6月1日・2日 第3回：6月23日 第4回：7月14日
第5回：8月25日 第6回：9月15日 第7回：10月20日 第8回：11月10日
第9回：12月1日 第10回：3月16日

16 生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業

予算：3,000,000円

決算：1,683,550円

豊かな自然が残る梅田川遊水地等において、市民団体等と連携して在来種の保全及び生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高め、再発見した緑区の魅力を内外に発信しました。

(1) インターネットなどを活用した情報発信

市民ボランティアの活動状況を緑区Twitter、広報よこはま緑区版などで紹介

(2) カレンダー等の配布

緑区の生物多様性をテーマにカレンダー等を製作・印刷して小学校に配布(3月)

(3) サインボードの設置

緑区の生物多様性をテーマにサインボードを製作・設置(2箇所)

(4) リーフレットの配架

緑区の生物多様性をテーマにリーフレットを作成し、土木事務所や十日市場駅などで配架(3月)

17 魅力ある公園づくり事業【新規】

予算：1,000,000円

決算：1,236,656円

コロナ禍で身近な公園が注目されている一方で、公園愛護会員の高齢化が進み、十分な維持管理が困難な公園も存在します。公園愛護会のモチベーション向上と活性化を図るための事業を実施して適切な維持管理を継続し、親しまれる公園づくりを図りました。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(1) 公園愛護会 PR 資料作成

ア 公園愛護会の紹介記事原稿を作成し、広報よこはま緑区版2月、4月号に掲載(22公園を紹介)

イ 広報よこはま緑区版に掲載する公園愛護会特集記事の原稿を作成

(2) 公園カレンダー作成

公園花壇に咲く花や愛護会の活動状況を紹介するカレンダーを作成し、公園愛護会に配布



公園愛護会の活動の様子
(谷津田原公園)

18 とれたてみどり地産地消推進事業

予算：2,867,000円

決算：2,409,636円

緑が豊かで農業の盛んな緑区において、区庁舎での農産物直売所、レシピを紹介する動画の配信、地産地消講座などを実施することで、緑区の農の魅力を広く区民に発信するとともに、地産地消の推進を図ります。

(1) 区庁舎直売所事業

ア 「農」の魅力をもPRするとともに、「農」に対する理解を深めるため、区庁舎内の直売所で地元農産物を販売(毎週火・木曜日)

イ 生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作るため、JA横浜と共催で地場野菜の直売会を実施(5月13日、6月17日、7月8日、10月21日、11月11日、12月9日、1月13日 緑区役所)

(2) よこはま地産地消サポート店を通じた地産地消促進事業

地元農産物を積極的に取り入れて地産地消に取り組んでいる飲食店等をPRするため、レシピを紹介する動画を活用したキャンペーンを実施しました。

(3) 地産地消情報発信事業

ア 多くの区民に地産地消や地元農産物に関心を持っていただけるよう、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信

イ 「地産地消みどりグルメガイドマップ」の改訂(1月)及び「とれたてみどり緑区直売所マップ」の改訂(3月)

ウ 広報よこはま緑区版11月号における地産地消特集の掲載

(4) 地産地消講座事業

「地産地消」の取組を身近に感じてもらうため、畑での収穫体験を実施しました。

(7月13日 ※11月23日は雨天により中止)



収穫体験の様子

19 みどり地域まちづくり推進事業

予算：2,695,000円

決算：2,060,078円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施しました。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりについて、地域ごとの課題や取組に応じた支援を行いました。

ア 山下地区（山下地区安全・安心まちづくり協議会）

（ア）山下地区安全・安心まちづくりプラン実現に向けた支援

まちづくり委員会6回開催（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

（イ）山下地区ささえあいバス運行支援

・ささえあいバス委員会6回開催（4月、6月、8月、10月、12月、2月）

・利用促進支援（利用会員164人（令和5年3月31日時点））

・バスルート・ダイヤ改定（4月）

イ 東本郷地区（東本郷まちづくり協議会）

東本郷地区まちづくりプラン実現に向けた支援

・協議会12回開催（毎月）

ウ 十日市場地区（十日市場駅周辺活性化協議会）

「十日市場のいちば」（夏と冬の年2回）

・夏のいちば（6月25日・26日、7月2日）

・冬のいちば（11月19日）



「十日市場のいちば」の様子

(2) 山下地域交流センター活用等検討

山下地域交流センター（旧山下小学校木造校舎）について、歴史的な特徴を生かした施設活用や運営方法等の検討調査を実施

ア 山下地域交流センターに関するアンケート調査等業務委託

・山下学舎文化祭の来場者に対する活用方法のアンケート調査

イ 山下地域交流センターの安全対策

・避難口誘導プレートなどの設置

(3) 緑区案内・誘導サイン等維持管理事業

ア 既存のみどころ案内サインを点検し、点検結果に基づき改修及び新設

（17基改修、1基新設）

イ 緑区サインガイドラインの改訂検討

(4) 地域のつながり施設設置事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進しました。

地域団体に空き地等は無償で利用してもらおう一方、所有者に対し奨励金を支払いました。

20 子どものまちづくりイベントMini Mini Midori

予算：3,500,000円

決算：3,440,075円

次世代を担う子ども達がまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作るため、子ども達が自らまちをつくり・運営するイベントを開催しました。アンケートでは、約99%の子どもたちが「また来年も参加したい」と回答しました。

（11月12日・13日 長津田地区センター 318人）

なお、イベント開催に向けては、公募により集まった子ども実行委員とまちの仕組みについて企画し、イベント当日に使うお店等を制作しました。（実行委員数：35人）



イベント当日の様子

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

21 ふるさとみどり魅力発信事業【新規・重点】

予算：7,512,000円
決算：6,741,790円

地域への愛着や郷土愛を育むとともに、あらゆる世代がまちづくりに参加し、住みたい、住み続けたいと思える緑区を目指すため、緑区の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を区民とともに見つけ、市内外に広く発信しました。

(1) 緑区プロモーション戦略策定事業

緑区の人口は、港北区や鶴見区等の市中心部からの転入超過による社会増が続いていましたが、令和5年3月1日時点の推計人口では前年同月比で483人の減少となりました。近隣の町田市や相模原市等への転出も一定数見受けられており、転出入等の実態を把握するためのアンケート調査を政策局政策課や横浜市立大学等と共同で実施しました。

また、アンケート調査の経過報告や、政策局シティプロモーション推進室が令和5年3月に策定した「戦略的広報プロモーションの基本方針」等も踏まえて、今後の移住・定住促進及びシティプロモーション等の施策を区役所全体で効果的に推進するため、「緑区プロモーション戦略（仮称）」の策定に向けて検討を実施しました。

(2) アートによる緑区の魅力発信事業

視覚的・直観的な「アート」という表現手段を活用することで、子どもたちや地域の新たな担い手をはじめとする「次世代」にも、地域の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を分かりやすく発信し、アートに触れる機会を創出するとともに、地域の活性化を図るため、昨年度に引き続き「山下学舎文化祭」を開催しました。



黒板アート(白山高校卒業生制作)

(8月16日～21日 山下地域交流センター)

また、「山下学舎文化祭」で制作した黒板アート作品のラッピングバスを2台運行し、区内外の街を行き交う方やドライバーなどに緑区の魅力を広く発信しました。

(3) 緑区フォトアーカイブ事業

区内の移り変わりを写真で残し、オープンデータ「緑区フォトアーカイブ」として提供しました。また、「緑区フォトコンテスト2022」（応募期間10月3日～11月30日）を実施し、入賞作品をオープンデータとして提供するとともに、昨年度フォトコンテスト2021の入賞・佳作作品を活用して2023年カレンダーを作成・配布しました。(10月～ 1,000部)

(4) 緑区遺産事業

区内にある有形の歴史的・自然的・文化的地域資源を「緑区遺産」として登録し、緑区遺産紹介冊子により、事業PRを図りました(登録数 21件)。また、看板等案内物設置の補助制度を新設しました(12月)。

自由参加型のウォーキングイベントとして、「緑区遺産巡り」を開催し、参加賞として巡った場所の「緑区遺産カード」を区役所1階で配付しました。(8月15日～12月28日)



緑区遺産カード
(表面：写真／裏面：解説)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

22 みどり環境行動啓発事業

予算：1,000,000円
決算：822,635円

地球温暖化対策等に関する啓発のため、講演会等のイベントを実施しました。（令和5年2月18日、参加者66名）

また、スーパーマーケットの店頭において、省エネ行動や3R行動、ワンウェイ・プラスチック削減などを啓発しました。（6月22日、12月14日）



環境講演会の様子

23 読書活動推進事業

予算：500,000円
決算：605,394円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めました。

(1) 赤ちゃんからお年寄りまで本に親しむ環境づくり

ア 青少年向け読書啓発事業「中学生選抜！私の推し本」

応募数：693件 第1位『5分後に意外な結末』

企画協力：中山中学校

展示期間 11月7日～11月11日（区役所）

11月13日～12月15日（図書館）

イ おはなし会ネットワークの支援

区内で読み聞かせの活動をしている団体と企画する

「みどりおはなしmini フェスタ」を開催。区役所ではお

すすめ絵本の紹介パネルを展示（5月17日～20日）

ウ 緑図書館におけるCDブック貸出事業

作品数161 貸出数946

エ 区民まつりにおける読書啓発イベント「本の交換会」



R4 横浜創英大学生による
おはなし会

(2) ボランティアの育成

ア 中高生図書館ボランティア体験事業（8月4日 7人）

イ 横浜創英大学との協働事業【新規】

・絵本リスト『横浜創英大学の大学生が選んだ心に残る絵本』の作成（3,000冊）

・大学生によるおはなし会（11月12日 13組）

(3) ネットワークを活かした家庭・学校での読書活動の推進

地区センター等における赤ちゃん絵本セット貸出事業

・区内4地区センター 貸出数410

(4) 区の特성에 応じた読書活動の推進

読書活動推進連絡会開催（第1回：7月28日、第2回：1月27日）、「読書まっぷ（読書活動推進目標記載）」配布、まちライブラリー支援事業等

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

24 緑・芸術文化事業

予算：2,160,000円

決算：1,930,005円

緑区の芸術文化活動の更なる振興を図るため、区民が身近な地域で良質な芸術文化に触れられる活動支援や、芸術文化活動に携わる人材の育成・交流の機会提供を行いました。

(1) 緑・芸術祭事業

ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援

(ア) 緑区民音楽祭実行委員会

安価で質の高い演奏会の開催

・第139回緑区民音楽祭ふれあいコンサート「輝かしきカルテットの仲間たち」

(6月26日 みどりアートパーク)

・第140回緑区民音楽祭ふれあいコンサート「第6回緑区民音楽祭新人演奏会『未来に輝く若き演奏家たち』」(9月11日 みどりアートパーク)

(イ) 緑区コーラスの会

第43回緑区コーラスのつどい(10月23日 みどりアートパーク)

(ウ) GROUP 創造と森の声 2021

森ラボ 2022(森の美術展、ワークショップ等)

(美術展4月～5月・9月～10月、ワークショップ8月・9月)

(エ) 公募事業を対象とした支援(文化芸術イベントが対象)

共催3件、後援9件

イ 区庁舎1階イベントスペースを活用した区民文化振興

(ア) 「お昼のロビーコンサート」開催

年4回、緑区民文化センターと連携開催

(7月、10月、12月、3月)

(イ) 「サークルミニギャラリー」開催

年6回、区内文化系団体による展示(絵画・写真等)

(5月、7月、8月、11月、2月、3月)



R4 お昼のロビーコンサート
(東洋英和女学院大学ハンドベル部)

(2) 交流と人材育成

ア 提案型ロビーイベントの実施(年7回:10月、11月、1月、2月)

イ 芸術文化活動の振興を目的としたイベントの実施

区内の小学生向けの音楽体験ワークショップ「ストローで楽器をつくって演奏しよう」

(3月12日 みどりアートパーク)

25 3R推進事業

予算：2,258,000円

決算：1,781,262円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、「食品ロス」・「プラスチックごみ」削減の啓発に重点的に取り組み、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開しました。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催(5月18日)

(2) 3Rの普及・啓発

ア 保育園等への出前講座の実施(6保育園、3小学校)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

イ 店頭キャンペーンの実施

- ・ダイエー十日市場店（6月22日）、イオンフードスタイル鴨居店（12月14日）

ウ 区民まつり等での啓発

- ・区民まつり（10月16日）でのプラスチック削減啓発展示、フードドライブの実施
- ・鴨居桜まつり（3月25日）での啓発

エ 広報よこはま緑区版による広報（10月、1月）

オ 緑ECO通信の自治会班回覧（7月、3月）

カ 転入者向け啓発・分別相談（4月）

キ フードドライブの推進

区内6施設に食品回収ボックスを常設するとともに食品ロス削減月間（10月）にキャンペーン実施。1年間で2,527点、1,022kgの食品を回収しました。



区民まつりでのフードドライブ

26 きれいなまちづくり事業

予算：2,498,000円

決算：2,798,641円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開しました。

(1) 花いっぱい活動事業

地域と協働して季節の花苗を沿道に植栽（5月、11月）

(2) 地域ふれあい活動事業

ア 地域清掃活動団体への支援（地域清掃用ごみ袋の配布：33,000枚）

イ 不法投棄対応（処理実績：220回）

(3) 駅さわやか活動事業

ア 中山駅周辺及び区庁舎周辺の清潔保持

（ア） 地域住民・商店街・事業者による中山駅周辺早朝清掃（11月）

（イ） 区職員による区庁舎周辺早朝清掃（7月、9月、1月、3月）

イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催

中山駅（6月、11月）、鴨居駅（6月）、

十日市場駅（6月）、長津田駅（6月）

ウ みどりサンタプロジェクト2022

小学生と区内4大学（東洋英和女学院大学、横浜創英大学、昭和大学、東京工業大学）の学生が、サンタ帽をかぶって地域のごみ拾いを行いました。

（12月10日、参加者68名）



みどりサンタプロジェクト2022

27 緑区商店街振興事業

予算：2,706,000円

決算：2,668,500円

消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、商店街ならではの“魅力”を地域の消費者に再発見してもらうことで集客力を高め、地元商店街の活性化につなげました。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(1) 「商店街 Special Week」

区内7商店街のキャッチコピーと魅力ある写真をちりばめたポスターを制作し、区役所や駅などの公共スペースに掲出すると共に、広報紙の活用やマスメディアと連携したPRを行い、商店街の活性化につなげました。(2年間で7商店街を一巡し、令和4年度は、長津田商店街・鴨居商栄会・竹山団地中央商店会で実施)



商店街 PR ポスター

(2) 「Midori Smile Mall キャンペーン」(事業内容変更)

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えるとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に「緑区商店街ポイントラリー」を企画しましたが、商店街の皆様との意見交換を重ねた結果、消費者がより気軽に参加できるように企画内容を変更し、1,000円以上のお買い物ですぐに応募できる「Midori Smile Mall キャンペーン」を実施しました。

(2月1日～2月28日 応募総数：3,692件)

28 区民まつり事業【拡充】

予算：5,600,000円

決算：5,591,633円

これまで、区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、さまざまな世代が参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園で実施していましたが、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により、開催を見送りました。

令和4年度は、会場を県立四季の森公園、緑区役所・緑公会堂での分散開催にするなど、開催形態を一部変更し、感染症対策を徹底したうえで、3年ぶりに緑区民まつりを開催することができました。多くの方にご来場いただき、区民の絆、つながりを実感できる一日となりました。

29 地域振興事業

予算：2,189,000円

決算：2,250,085円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切に、地域との良好な関係を構築しました。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、表彰式を実施し、永年在職の自治会長に感謝の意を表しました。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長5年在職者に区長から感謝状を贈呈。なお、10年以上の自治会長については5年毎に、市長名で表彰(3月3日)

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向け、地域の実情に合わせた加入促進を自治会と連携し実施

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

30 市民活動パワーアップ支援事業

予算：3,462,000円

決算：2,748,263円

市民活動や地域活動の一層の活性化を支援するため、緑区市民活動支援センター「みどり一む」を拠点として、みどり一む運営委員会（5つの部会で構成）との協働により区民主体で事業を企画・実施しました。

また、地域で新たに始まる公益的活動に対して、補助金を交付しました。

(1) 市民活動セミナー等の開催

- ア 市民活動セミナー 6月18日 9人、7月2日 10人
- イ 防災・減災講座 7月31日 24人
- ウ 地域福祉セミナー 11月26日 20人
- エ ちょっと先生の夏休み子ども体験講座 8月15日～20日 52人
- オ ちょっと先生のチャレンジ講座 11月29日 14人、2月12日 12人

(2) 市民活動団体交流事業の開催

- ア みどり市民活動交流会 9月25日 24人
- イ サロンふらっと 4月17日 23人、6月19日 16人、8月21日 34人
10月23日 28人、12月8日 16人、2月12日 33人
- ウ みどり一むまつり 3月4日・5日 508人
- エ Open!みどり一む 7月24日 12人、10月30日 273人、2月11日 50人

(3) 生涯学級及び家庭教育学級事業の開催

- ア 「横浜線ものがたり」 連続講座受講者 17人（①のみ公開講座 22人）
① 4月9日、② 4月22日、③ 5月13日 中止、④ 5月27日、⑤ 6月10日、⑥ 6月24日
- イ 「自然を楽しむ講座」 連続講座受講者 15人
① 4月12日、② 4月26日、③ 5月10日、④ 5月24日、⑤ 6月7日
- ウ 家庭教育学級
1月30日 5人、2月6日 7人、2月14日 6人、2月24日 4人
- エ 地域デビュー講座 連続講座受講者 16人
① 11月19日、② 11月26日、③ 12月3日、④ 12月10日、⑤ 12月17日

(4) 緑区地域施設間連携会議

- 第1回 6月30日 21施設、第2回 1月26日 16施設

(5) パソコン相談コーナーの運営（緑区市民活動支援センター）

- ア 「めだかの学校」スマホ、パソコンなんでも相談（毎週火・木・土曜日）
- イ 「めだか塾」パソコン初心者講習会（年9回）

(6) IT講習会の開催（各地区センター）

- スマホ、パソコン講習等（年10回）

(7) 緑区地域課題チャレンジ提案事業

- 公益的活動に対する補助金の交付（13団体）、うち脱炭素化に寄与する活動に対する補助金の交付（5団体）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

31 みどりスポーツ振興事業

予算：1,854,000円

決算：1,684,500円

区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行い、また、気軽にスポーツ文化に楽しむことができるイベント等を区としても実施し、区民がより健康で多様な豊かな暮らしができる環境づくりを進めました。

(1) 緑区スポーツ協会事業

加盟する団体等（15団体、3関連団体）の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

(2) みどりスポーツフェスティバル

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区スポーツ協会の3者による、世代を問わず気軽に参加できるスポーツレクリエーションイベント
（6月26日 緑スポーツセンター 449人）

(3) みどりスポーツ振興事業

ア 区内出身力士（荒篤山）応援事業（動画配信、写真展等）（4月）

イ 緑区ランニングフェスタ事業（12月24日 新横浜公園日産フィールド小机 88人）

ウ プロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」観戦企画（1月8日 横浜国際プール 362人）

エ ラジオ体操講習会（1月29日 緑スポーツセンター 123人）

32 広報・広聴事業

予算：2,643,000円

決算：2,522,301円

(1) みどり区区民生活・防災マップ事業

区内の公共施設や医療機関、防災拠点、地震・風水害情報等を掲載したマップを転入者等に配布しました。

(2) 広報発信力アップ事業

迅速に情報が提供できるウェブサイトの長所を活かし、緑区ウェブサイト・緑区ツイッター・LINE・民間広報媒体と協力した情報発信を行いました。併せて区庁舎2階の情報モニターを活用し、来庁者への広報も行いました。

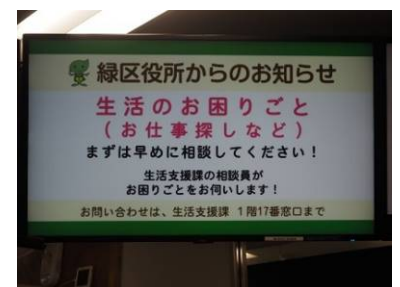
また、区内4駅6か所のPRボックスに、広報よこはま区版の特集ページの掲出と追加補充、区の事業に関するチラシの配架を行いました。（毎月）

(3) 緑区役所意見箱運営事業

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上を図りました。

(4) 緑区「ふれ愛トーク」の開催

緑区内で地域の生態系の大切さを子ども達に伝える活動を長年実施している「梅田川水辺の楽校協議会」と区長が活動内容等について意見交換を行いました（2月）。実施したふれ愛トークについて広報よこはま緑区版（5月号）及び区ウェブサイトで紹介しました。



情報モニター
（緑区庁舎2階）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

33 区民から親しまれる区役所づくり事業

予算：5,640,000円

決算：10,809,688円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組みました。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行いました。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する研修を実施し、窓口接遇スキルの向上を図りました。

(2) 人権啓発・職員研修事業

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会及び職員向け人権啓発研修等を実施しました。

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、表彰を実施（個人：2名、団体：1団体）

<p>山上 陽莉 (白山バドミントンスポーツ少年団)</p>	<p>「全国バドミントン大会(3,4年生)」において第3位に入賞</p>
<p>加藤 美都 (横浜市立緑が丘中学校)</p>	<p>「神奈川県中学校選抜陸上競技大会女子100m障害」において大会新記録で2連覇</p>
<p>緑区少年野球選抜チーム 「オール緑」 (緑区少年野球連盟)</p>	<p>神奈川県知事杯争奪選抜少年野球大会の連覇及び卒業記念送別選抜少年野球大会において優勝</p>

(4) 緊急的課題への対応

新型コロナウイルス感染症対策など緊急的課題に対応するとともに、区民の方がより利用しやすい区役所となるよう緑区役所の4階にあるライトコート(中庭)を活用して、市民向け花壇「ミドリンGARDEN」を設置しました。

(5) 緑区データ集作成事業

人口減少や少子高齢化など、区の統計データを地域別にまとめたデータ集「教えてみどり」を作成し、データをホームページで公開しました。

令和5年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

緑 区



令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業一覧

[単位:千円]

No.	事業名	重点等	R05予算	R04予算	増△減	所管課	ページ
① 安全・安心なまち			18,470	17,757	713		
1	災害に強いまちづくり事業	重点	8,210	7,997	213	総務課、福祉保健課	3
2	安全・安心まちづくり推進事業		2,020	1,820	200	地域振興課	4
3	交通安全対策事業		4,074	3,774	300	地域振興課	5
4	交通安全施設等整備事業		2,500	2,500	0	土木事務所	6
5	暮らしの衛生推進事業		1,666	1,666	0	生活衛生課	6
② いきいき暮らせるまち			21,123	21,742	△ 619		
6	あんしん子育てネットワーク事業	重点	8,359	8,100	259	こども家庭支援課	8
7	保育所すこやか子育て支援事業		1,870	2,170	△ 300	こども家庭支援課	9
8	DV対策・児童虐待防止事業		645	645	0	こども家庭支援課	10
9	青少年地域サポート事業		1,151	1,151	0	地域振興課	10
10	健康たうん・みどり推進事業		3,545	3,458	87	福祉保健課	11
11	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		4,295	4,295	0	福祉保健課	12
12	高齢者生きがい推進事業		463	463	0	高齢・障害支援課	12
13	障害理解等促進事業 (R4:障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業)	拡充	795	460	335	高齢・障害支援課	13
	地域特性データ集作成事業		0	1,000	△ 1,000	高齢・障害支援課、福祉保健課	
③ みどりの魅力あふれるまち			58,129	58,084	45		
14	花と緑あふれるふるさと緑区事業	再編	3,000	5,000	△ 2,000	土木事務所	14
15	ビオトープ再生による生物環境保全事業	新規	5,200	0	5,200	土木事務所	14
16	魅力ある公園づくり事業		1,000	1,000	0	土木事務所	14
17	とれたてみどり地産地消推進事業	拡充	2,940	2,867	73	区政推進課	15
18	みどり地域まちづくり推進事業		2,095	2,695	△ 600	区政推進課	15
19	ふるさとみどり魅力発信事業		5,160	7,512	△ 2,352	区政推進課	16
20	みどり脱炭素推進事業	新規・重点	5,746	0	5,746	区政推進課、こども家庭支援課	17
21	読書活動推進事業		500	500	0	地域振興課	18
22	緑・芸術文化事業		2,160	2,160	0	地域振興課	18
23	3R推進事業		2,258	2,258	0	地域振興課	19
24	きれいなまちづくり事業		2,498	2,498	0	地域振興課	19
25	緑区商店街振興事業	再編	3,000	2,706	294	地域振興課	20
26	区民まつり事業		6,500	5,600	900	地域振興課	20
27	地域振興事業	拡充	2,529	2,189	340	地域振興課	20
28	市民活動パワーアップ支援事業	重点	4,162	3,462	700	地域振興課	21
29	みどりスポーツ振興事業		1,854	1,854	0	地域振興課	22
30	広報・広聴事業		2,436	2,643	△ 207	区政推進課	22
31	区民から親しまれる区役所づくり事業		5,091	5,640	△ 549	総務課	23
	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業		0	3,000	△ 3,000	土木事務所	
	子どものまちづくりイベントMini Mini Midori		0	3,500	△ 3,500	区政推進課	
	みどり環境行動啓発事業		0	1,000	△ 1,000	区政推進課	
合計			97,722	97,583	139		

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

① 安全・安心なまち 18,470千円

1 災害に強いまちづくり事業【重点】 8,210千円

避難場所における感染症対策を充実させます。防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進します。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 災害警戒体制早期確立のため、緊急時初動対応グループ研修を実施（4月6日・7日）
- イ 災害時、円滑に行動できるよう、区職員を対象に風水害研修（5月31日）及び風水害時避難場所の確認、区災害対策本部運営訓練（9月29日、1月26日）を実施
- ウ 区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保（10月）
- エ 発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するための資機材を購入し計画的な備蓄を実施（10月）
- オ JR、市営地下鉄等の関連機関と区が連携して帰宅困難者対策訓練を実施（11月）【新規】

(2) 地域防災拠点等強化事業

- ア 高齢者等要援護者の拠点用備蓄品の購入
- イ 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点7月、12月）
- ウ 地域防災拠点運営委員会情報共有会の実施（10月）
- エ 新任運営委員を対象に基礎的な内容の避難所運営研修の実施（6月24日）
- オ 拠点の訓練などをコーディネートする参与に対し、研修を実施（5月9日・10日）
- カ 女性視点を盛り込んだ避難所づくりに必要な備蓄品の購入（間仕切りテント、人感センサーLEDライト）

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災ネットワーク運営委員会（4月14日）
- イ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（6月3日）
- ウ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施（2月）
- エ 防災講演会の実施（3月 緑公会堂）

(4) 減災行動啓発事業

- ア 小学校低学年を対象に、防災・減災へ興味を持つ入口として、出前防災講話を実施
- イ ハザードマップ等を活用した小学生を対象としたmy減災マップ作りワークショップの開催
- ウ 自治会・事業者などを対象にマイタイムラインやARアプリ等を活用した減災行動の啓発や、感染症禍での在宅避難・避難場所以外への避難啓発の実施
- エ 地域が抱える防災に関する課題の解決を支援するため、地域防災拠点運営委員会や自治会等に地域防災アドバイザーを派遣
- オ 在宅避難のための備えにつなげる区民向け防災講座を開催（2月）
- カ こども防災イベント（7月23日）及び子育て世代向け防災講座（11月）の開催【新規】
- キ 小・中学校教諭を対象としたmy減災マップ講座の開催（7月25日）【新規】
- ク 関東大震災100年パネル展の開催（8月7日～10日、12日）【新規】



こども防災イベント
（緑消防署）

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(5) 各種マップの増刷

- ア ハザードマップ等各種マップの増刷
- イ 緑区防災計画「風水害対策編」の改正（3月）

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練等の実施（9月3日）
- イ 保健活動グループの訓練の実施（11月）

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

(8) 外国人（要援護者）に向けた減災啓発事業

年々増加する外国人居住者に向けた防災講座を東洋英和女学院大学及びみどり国際交流ラウンジと連携して開催

(9) 妊産婦（要援護者）に向けた減災啓発支援事業

- ア 妊婦や子どもを持つ家庭に向けた災害への備えについての講話を母親教室等で実施
- イ 災害時用の離乳食を備蓄し、もぐもぐ教室、乳幼児健診で啓発用としても活用

(10) 新型コロナウイルス感染症対策事業

地域防災拠点の新型コロナウイルス感染症対策として、間仕切りテント及びベッド等購入

2 安全・安心まちづくり推進事業

2,020千円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行います。

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

- ア 総会の開催（5月17日）
- イ 活動内容
 - (ア) 防犯パトロール物品等の提供（通年）
 - (イ) 啓発活動
 - a 警察と連携した特殊詐欺防止等キャンペーン
（警察署主催の駅頭キャンペーンでの啓発チラシ配布等）
 - b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布等）
 - c 地域情報紙を活用した防犯啓発
 - (ウ) 防犯リーダー養成講座の開催（各連合自治会の防犯関係者対象）

(2) 特殊詐欺被害防止事業

防犯協会の防犯ポスターコンクールの入賞作品のうち、特殊詐欺に関する作品等について、バスラッピングによる啓発（12月）など

(3) 情報提供・啓発の充実

- ア 緑区防犯情報メールの配信
緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで配信
- イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発
- ウ 広報よこはまへの啓発記事（特殊詐欺防止）掲載
- エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実
情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信



R4 特殊詐欺防止バスラッピング

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

3 交通安全対策事業

4,074千円

緑警察署、緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進します。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発に重点的に取り組みます。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

- ア 総会の開催及び功労者表彰（4月19日）
- イ 幹事会の開催（4回）（第1回：5月22日）

(2) 交通安全運動推進

- ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）
 - (ア) 新入学児童・園児を交通事故から守る運動（4月5日：中山駅周辺）※4年に1度
 - (イ) 春の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（5月11日：鴨居駅周辺）
 - (ウ) 夏の交通事故防止運動（7月11日：十日市場駅周辺）
 - (エ) 秋の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（9月20日：緑公会堂「交通安全緑区民大会」）
 - (オ) 年末の交通事故防止運動（12月：長津田駅周辺）
- イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発
 - (ア) 駅前及び交差点での啓発（5月18日：中山駅周辺）
 - (イ) 登校時の高校生への啓発（5月18日：白山高校、5月19日：霧が丘高校）
 - (ウ) 自転車駐車で啓発（6月6日：長津田駅、6月15日：十日市場駅、6月20日：鴨居駅、6月22日：中山駅）
- ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

(3) 交通安全教育・対策

- ア 高齢者交通安全教育・対策
 - (ア) シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催（4回）（第1回：6月2日 第2回：9月4日）
 - (イ) 高齢者向け交通安全教室（緑区交通安全シルバーリーダー研修会）の実施（1月）
- イ 児童交通安全教育・対策
 - (ア) ランドセルカバー贈呈
新1年生へミドリンをデザインしたランドセルカバーの配付（贈呈式 4月7日：長津田第二小学校）
 - (イ) はまっ子交通あんぜん教室（児童交通安全教育）の実施
（6月13日：長津田第二小学校、6月16日：長津田小学校、6月28日：東本郷小学校、7月6日：十日市場小学校、7月10日：竹山小学校）
- ウ スクールゾーン対策
 - (ア) スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施（4月26日 緑区役所）
 - (イ) スクールゾーン対策協議会への助成
 - (ウ) 電柱巻標識更新、路面標示の新設・補修
 - (エ) 横断旗等の配布（1月）

(4) 放置自転車対策

- ア 自転車等放置防止推進協議会の開催
（7月4日：中山駅、7月10日：鴨居駅、7月14日：十日市場駅、7月27日：長津田駅）
- イ クリーンキャンペーンの実施（10月 区内4駅）



クリーンキャンペーンでの警告札付け

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

4 交通安全施設等整備事業

2,500千円

「安全・安心なまち」の実現のため、生活道路やスクールゾーンを中心とした、市民生活に密接した箇所における歩行者の交通安全対策を推進します。

(1) 交通安全施設等整備事業

- ア 日常の陳情やスクールゾーン対策協議会等による交通安全対策に関する要望の集約（4月～7月）
- イ 交通安全対策実施予定箇所の選定（7月～8月）
- ウ 交通安全対策の実施
 - 区画線の新設・補修、あんしんカラーベルトの補修等の実施（9月～3月）



R4 実施箇所（北八朔町）

5 暮らしの衛生推進事業

1,666千円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方等について周知・啓発を図ります。

地域防災拠点での衛生対策や、ペットの飼い主が必要な時にためらいなく安心して避難できる地域となるよう、ペットの飼い主や多様な区民への啓発及び地域防災拠点でのペット同行避難受入れ支援等を行います。

(1) 食中毒予防啓発事業

- ア 飲食店の営業者及び調理従事者並びに区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施
 - (ア) 区内小学校における食中毒予防啓発出張講座等による、子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発の実施（通年）
 - ・ 小学校長会で事業概要の説明及び参加募集（6月）
 - (イ) コロナ後を見据えた、地域での行事等における食品の取扱い等についての啓発の実施（通年）
 - ・ 広報よこはまにて啓発記事を掲載（7月号）
- イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施
 - ・ 食中毒予防キャンペーン
 - 店舗型：15店舗（8月1日～9月30日）
 - イベント型：ビーンズ中山（9月14日）、緑区民まつり（10月15日）
- ウ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等（秀級施設）の紹介、ステッカーの配付（1月予定）、HACCP（ハサップ）の導入・継続指導
- エ 2階庁舎内フロア案内図デジタルサイネージ、窓口モニターでの食中毒予防に関する啓発動画の上映

(2) 薬と健康の啓発事業

- パネル等の展示や広報を活用し、薬物の適正な使用に関する周知啓発を実施（通年）
 - ・ 薬物乱用防止パネル等の展示（6月1日～7日、7月10日～14日）

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 人と動物との共生事業

ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発

(ア) 飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施（下半期予定）

(イ) 窓口でのチラシ、糞持ち帰り袋等の配布

イ 動物愛護普及啓発

区役所イベントスペースでのパネル等展示（8月）

(4) 安心・快適な暮らし推進事業

ア 暮らしの中の虫相談

・虫の日（6月4日）にあわせ、衛生害虫啓発のパネル等の展示（6月）

・区民まつりでの展示（10月）

イ アシナガバチ等駆除器材の貸出

ウ 2階庁舎内フロア案内図デジタルサイネージ、窓口モニターでの身近な虫（蚊及びハチ）に関する危害防止の注意喚起動画の上映

広報よこはまに蚊（6月号）及びハチ（7月号）に関する注意喚起の記事を掲載

(5) 災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

(ア) 災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布

(イ) ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催（8月26日）

(ウ) 区民まつりにてパネル展示、ペーパークラフト、チラシ等の配付（10月）

イ 地域防災拠点におけるペット受入れ態勢の促進

(ア) 地域防災拠点へのペット同行避難スターターキットの配備（ニーズに応じて+αとしてペットケージの配備）

(イ) 拠点訓練でのペット同行避難訓練の実施、緑区獣医師会との協働による出前講座等の実施、ペット用非常持出品等の展示・紹介、飼い主間及び拠点との連携支援

ウ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発



R4 地域防災拠点での
ペット同行避難説明（三保小）

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

② いきいき暮らせるまち 21,123千円

6 あんしん子育てネットワーク事業【重点】 8,359千円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに、育児の知識を提供
(緑区役所 年12回 うち4回実施(7月末時点))

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催
(14か所の会場で各9回 計126回 うち44回実施(7月末時点))

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施
(1日コース9回 うち3回実施(7月末時点)
2日コース3回 うち1回実施(7月末時点))

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施(個別相談15回 うち4回実施(7月末時点)、スーパーバイズカンファレンス年1回)

オ 妊娠・出産・子育てマイカレンダー【新規】

母子健康手帳交付時に、妊娠期から出産後4か月位までの期間において受けられる教室やサービス、手続きや準備することなど、カレンダーを使いわかりやすく案内
(2,800部) カレンダーデザイン調整中(～7月末)

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

保育所等の繁忙期の個別相談や乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を実施

エ 緑区子育て支援のひろば事業

地域の協力を得て、親子で集い、交流や情報交換ができる場づくり

オ 緑区子育てアンケートリーフレット【新規】

乳幼児の養育者に行ったアンケート結果をリーフレットに集約し、関係機関に配布
(2,000部) リーフレットデザイン調整中(～7月末)

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信(メールマガジン毎月1回配信)

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布（3月 6,000部）

ウ みどりっ子カレンダー

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図る。（毎月1,000部）

エ 保育施設のご案内

保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内（5月 2,000部、10月 3,000部）、よくある質問に答えるリーフレットを発行

オ 乳幼児健診情報提供

子育てを支援する動画を乳幼児健診時等で放映

カ 放課後事業情報提供

放課後児童クラブと放課後キッズクラブの事業や、区内の各クラブを紹介するリーフレットを作成。（2,500部）

（4）新型コロナウイルス感染予防対策

安心して各事業の実施が出来るように、消毒液等、新型コロナウイルス感染予防対策用物品を購入

7 保育所すこやか子育て支援事業

1,870千円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めます。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」、園庭やホールを開放し、地域の人に利用してもらう「施設開放事業」などを実施します。

また、「あつまれ！みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。

（1）ネットワーク事業

ア あつまれ！みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、公立園と民間園が協力し、手作りおもちゃの作成や親子体操等、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図る。本年度は、集合型イベントとして11月に緑公会堂で実施予定。

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替えができるスペースを市立保育所等に設置し、地域の親子に開放。必要に応じて、保護者の育児不安の相談等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぐ（50か所（7月末時点））。

（2）市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びを紹介

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出しや、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やす。

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

ウ 施設開放の拡充

施設解放（園庭開放・支援ルームやホール開放等）の時間を拡げ、地域子育て支援の充実をさらに図る。

エ 離乳食ランチ交流

調理員・保育士が、親子に離乳食の試食を通じて調理の工夫等を伝え、食に関する育児不安の解消につなげる。（9月～実施予定）

（3）市立保育所での地域交流事業

地域の協力を得ながらの伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図る。

8 DV対策・児童虐待防止事業

645千円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行います。また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施します。

（1）DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施
（年12回のうち、3回（6件）実施（7月末時点））

（2）児童虐待防止事業

様々な課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修（年1回）

9 青少年地域サポート事業

1,151千円

次代を担う青少年の健全育成推進を目的に、環境づくり等、様々な取組を進めます。また、地域の青少年育成の担い手である市民活動団体等による活動に対して支援を行います。さらに、身近な地域における青少年向けの体験活動・イベントを区が企画して実施します。

（1）みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等が行う青少年向けの事業に対し、経費の一部を補助（実績：2事業）

（2）緑区青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

（3）青少年地域サポート事業運営費

ア 青少年育成に対してより良い社会環境の醸成に向けた啓発活動や地域交流支援

イ 青少年向けの体験活動・イベントを区が企画して実施【新規】

青少年自然体験講座「緑区は昆虫すごいよ！」
（7月31日 にいはる里山交流センター）

（4）区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業

東京工業大学等と連携した小・中学生向け体験講座を実施（2月）



「緑区は昆虫すごいよ！」の様子

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

10 健康たうん・みどり推進事業

3,545 千円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防及び健全な食生活の実践に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、保健活動推進員、食生活等改善推進員等の地域の団体や関係機関と協働で啓発に取り組みます。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行います。

(1) 健康づくり月間事業

区民まつりを活用した健康づくり月間イベントを、健康づくりに関連する団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、獣医師会、助産師会、食品衛生協会、保健活動推進員会、食生活等改善推進員会）と協働で、健康チェック・健康相談・野菜摂取促進等の事業を実施（10月15日）

(2) 思いやり、健康づくりの日事業

健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発を含む）、推定野菜摂取量測定の実施（9回）（6月20日は食育月間キャンペーンと同時開催）
食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（7回）

(3) 健康たうん・みどり事業

地域団体による自主的な健康づくり活動や地域向け講習会等の実施を支援（6月12日、7月5日）

(4) みどり食育実践推進事業

ア 食育月間・食育の日キャンペーン

(ア) 食育月間キャンペーン

6月は「食育月間」であることを周知するとともに、食を中心とした健康づくりの啓発を実施するために、パネル展及びイベントを開催（6月13日～20日（6月20日は思いやり、健康づくりの日と同時開催））

(イ) 食育の日キャンペーン

毎月19日は「食育の日」であることを周知するとともに、食事診断システムの体験や野菜摂取の促進、お口の健康づくり等の啓発を実施（3回）

イ 食事サンプル等を活用した体験型食育講座

(ア) 学校と連携した児童・生徒・教員向け講座

区内小・中学校の授業等で、食育指導の支援を実施（8月24日）

(イ) P T A・地域子育て支援拠点等の成人向け講座

地域団体等に、バランスの良い食生活を習得するための講座を実施（9月7日・8日）

ウ 緑をたっぷり召し上がれキャンペーン

食生活等改善推進員と協働で野菜摂取の促進を実施。「とれたてみどり直売所」の販売日と合わせて実施（4回）

エ 平常時から考える食の備蓄

災害時に備えた食の備蓄の重要性を啓発リーフレット等で周知

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、地域子育て支援拠点等の対象者が集う地域の中で、生活習慣病予防の動機づけを図る講座を実施（3回）

(6) 体験型がん啓発事業

がん触診モデル等の使用・展示による幅広い対象に向けた体験型がん検診啓発を実施

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

11 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

4,295千円

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、第4期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進します。

また、ひとり暮らし高齢者等に対して見守りや訪問を行っている民生委員・児童委員の活動を支援します。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

「みどりのわ・ささえ愛プラン」については、推進策定委員会の意見等を踏まえて、各地区共通の課題や区域の課題に対する取組を推進。各地区の計画については、地区別計画推進策定委員会等において推進に係る検討が進められるよう支援

ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催（3月）

イ 地区別計画推進策定委員会の開催（11地区）

各地区2回以上開催

ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（7月3日、2月 2回）

エ 第4期計画推進に係る報告書の発行及び講演会の開催（3月）

オ 地区別計画の推進のための支援



みどりのわ・ささえ愛プラン
冊子・地区別リーフレット

(2) 民生委員見守り訪問事業

民生委員は高齢者に対し電話での安否確認を年間約800回、定期的な訪問を約14,000回実施しているが、別途、健康福祉局所管の「ひとり暮らし高齢者等『地域で見守り』推進事業」への協力として、民生委員、地域包括支援センター、区役所高齢・障害支援課のいずれともつながりのない高齢者を中心に、訪問等による状況確認を実施。その際は、はがきや手紙などにより事前に生活状況等を確認することで民生委員の負担を軽減（9月～10月）



民生委員の見守り訪問

また、活動をサポートするため担当エリアを明確にした「活動マップ」を、増員や宅地開発等による受持ちエリアの変更に合わせて更新（通年）

12 高齢者生きがい推進事業

463千円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進します。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル（3月）

イ 囲碁・将棋大会（12月）

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

ア 区民まつりにおける啓発グッズ等の配布

イ 老人クラブ啓発用封筒の印刷



R4 囲碁・将棋大会（緑ほのぼの荘）

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

13 障害理解等促進事業【拡充】

795 千円

障害者通所施設の自主製品販売を支援し、障害福祉を啓発することにより障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実させるとともに、区民の障害理解を促進させます。

また、精神保健福祉サービスを情報提供する案内人を配置し、精神障害者の社会参加や安心した暮らしに向けた支援を図ります。

(1) 共同販売の推進

ア 区役所での共同販売「みどりハートフルマーケット」の場の設定（通年）

イ 販売チラシ作成（3月）

(2) 商品の魅力アップ支援

商品（自主製品）及び受注作業の魅力を紹介する冊子「ミドリビト」（R4年度改訂）の継続配布（通年）

(3) 障害理解の促進

障害者週間に合わせた啓発イベント開催（12月）

(4) 精神保健福祉サービス案内人【新規】

精神障害者保健福祉手帳新規取得者に対してサービスにつなげるための案内人の配置



障害者週間啓発展示（緑区庁舎1階）

③ みどりの魅力あふれるまち

58,129千円

14 花と緑あふれるふるさと緑区事業【再編】

3,000千円

令和4年度まで花と緑のサポーター養成講座を実施し、花と緑のサポーターの育成を行いました。サポーターによる花壇づくりなどの活動を継続的に支援し、花と緑あふれるまちづくりを推進します。

(1) 花と緑のサポーターフォローアップ事業

フォローアップ講習の実施（通年：全10回）

第1回：4月13日 第2回：5月18日

第3回：6月15日 第4回：6月29日

第5回：8月24日 第6回～第10回：9月以降実施



R4 花と緑のサポーター養成講座
（緑土木事務所）

15 ビオトープ再生による生物環境保全事業【新規】

5,200千円

特定外来生物が定着・繁茂できる環境となっている雨水調整池のビオトープを再生し、野鳥等が飛来できる水辺を創出し、生物環境の回復を図ります。

(1) 外来生物捕獲調査事業

捕獲調査による外来生物の生息状況把握（8月）

(2) 水辺の環境保全事業

繁茂した水草、堆積土砂撤去や追跡調査のための水辺周辺の環境整備の実施（8月以降）



三保第一雨水調整池（現状）

16 魅力ある公園づくり事業

1,000千円

コロナ禍で身近な公園が注目される一方で、公園愛護会員の高齢化が進み、十分な維持管理が困難な公園も存在します。街に潤い活気をもたらすオープンスペースとして一層の公園活用も求められています。公園愛護会等のモチベーション向上と活性化を図るための事業を通して適切な管理を継続し、親しまれる公園づくりを図ります。

(1) 公園愛護会 PR 資料作成

ア 公園や愛護会活動等の紹介記事を作成
（上期1回、下期2回を予定）

イ 緑区公園マップの配布（通年）

(2) 公園カレンダー作成

公園愛護会の活動状況等を紹介する緑区特製カレンダーの作成



公園愛護会の活動の様子
（山町高倉公園）

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

17 とれたてみどり地産地消推進事業【拡充】

2,940千円

緑が豊かで農業の盛んな緑区において、区庁舎での農産物直売所、レシピを紹介する動画の配信、地産地消講座などを実施することで、緑区の農の魅力を広く区民に発信するとともに、地産地消の推進を図ります。

(1) 区庁舎直売所事業

ア 「農」の魅力をPRするとともに、「農」に対する理解を深めるため、区庁舎内の直売所で地元農産物を販売（毎週火・木曜日）

イ 生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作るため、JA横浜と共催で地場野菜の直売会を実施（5月12日、6月16日、7月7日、11月10日、12月8日、1月12日 緑区役所）

(2) よこはま地産地消サポート店を通じた地産地消促進事業

地元農産物を積極的に取り入れて地産地消に取り組んでいる飲食店等をPRするため、レシピを紹介する動画を活用したキャンペーン等を実施（11月～12月）

(3) 地産地消情報等発信事業

ア 多くの区民に地産地消や地元農産物に関心を持っていただけるよう、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信

イ 「みどりとれたてレシピ集」の改訂

(4) 地産地消講座事業

地産地消の取組を身近に感じてもらうため、親子で畑での収穫体験を実施（7月8日、10月28日）

(5) 「農」の魅力動画配信事業【新規】

地元農産物の収穫の様子など臨場感あふれる「農」の魅力を伝えるとともに、実際に料理してもらうなど地産地消の推進につなげるため、区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピを紹介する動画を配信（動画2本制作）



R4 レシピ動画広報チラシ

18 みどり地域まちづくり推進事業

2,095千円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりについて、地域ごとの課題や取組に応じた支援を実施。また、新たな地区での支援についても、専門家派遣等により対応

(2) 山下地域交流センター活用事業

地域に愛される木造校舎を活用できるよう、地域と一緒に耐震補強等工事後を見据えた施設活用や運営方法等を検討

(3) 緑区案内・誘導サイン等維持管理事業

ア 区内に設置している案内・誘導サインについて、計画的かつ効率的に改修・更新を実施



山下地域交流センター

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

イ バリアフリー基本構想の策定やまちづくりの進捗等に応じて、案内サインの新設・撤去や情報更新を継続的に実施

(4) 地域のつながり支援事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進。地域団体に空き地等を無償で利用してもらおう一方、所有者に対し奨励金を支払い

19 ふるさとみどり魅力発信事業

5,160千円

地域への愛着や郷土愛を育むとともに、あらゆる世代がまちづくりに参加し、「住みたい、住み続けたい、子育てしたい」と思える緑区を目指すため、緑区の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を区民とともに見つけ、市内外に広く発信していきます。

(1) 緑区プロモーション推進事業

令和5年3月に政策局において策定した「横浜市シティプロモーション基本方針」等を踏まえ、自然や農、歴史など、緑区の魅力を地域や関係団体とともに集め、区内外に広く発信する「ふるさとみどり魅力発信ガイドブック（仮称）」を策定（12月）

(2) 緑区フォトアーカイブ事業

ア 区内の移り変わりを写真で残し、オープンデータ

「緑区フォトアーカイブ」として提供

イ 緑区フォトコンテストを実施し（9月～11月）、

入賞作品をオープンデータとして提供

ウ 前年度フォトコンテストの入賞・佳作作品を活用

してカレンダーを作成（秋頃配布予定）



緑区フォトアーカイブカレンダー
(R4作成)

(3) 緑区遺産事業

ア 区内にある有形の歴史的・自然的・文化的地域資源を「緑区遺産」として登録し、緑区遺産紹介冊子・緑区遺産カードを活用したイベント等により区の魅力として発信

（令和5年7月末現在の登録数 21件）

イ 登録申請団体による訪問者のための看板等案内物の設置を補助

20 みどり脱炭素推進事業【新規・重点】

5,746千円

2030年のSDGs達成及び2050年の「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、区民一人ひとりの環境に対する意識を高め、行動変容を促す取組を実施します。企業や大学、地域団体等、様々な主体と連携しながら、2027年の国際園芸博覧会開催を好機と捉え、あらゆる機会を通じて啓発事業や情報発信に取り組みます。

(1) 脱炭素・SDGs啓発イベント事業

脱炭素やSDGsの目標達成に向け、令和元年度から開催実績のある「子どものまちづくりイベントMini Mini Midori」を発展的にリニューアルし、次世代を担う子どもたちを中心に、脱炭素等への理解を深め、その家族、地域へと波及し、区民一人ひとりが日々の生活を見直すきっかけをつくるイベントとして、子どものまちづくりイベント「Mini Mini Midori プラス SDGs」を実施しました。(8月20日 緑公会堂 子ども380人、保護者等361人)

開催にあたっては、公募により集まった子ども実行委員が、SDGsの17の目標を東洋英和女学院大学の学生と一緒に学び、脱炭素等に取り組む企業を見学するなどして、イベントに出店するお店がSDGs等にどのように貢献できるかを考えました。(実行委員数21名)



Mini Mini Midori プラス SDGsの様子

(2) 温暖化対策等啓発事業

ア 区民が日々の生活の中で環境にやさしい賢い選択ができるよう、区民まつり等において、知る、触れる、体験・体感をテーマとした展示やイベント等を実施。企業や商業施設等と連携し、区民の身近な場所で情報発信や啓発活動を実施

イ 区総合庁舎の屋上に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを導入するとともに、庁舎入口付近にディスプレイを設置し、太陽光発電量の見える化を実施



太陽光パネル設置イメージ

(3) 市立保育所(3園)におけるグリーンカーテン事業

グリーンカーテンの設置を通じて、植物の成長を楽しむと同時に、脱炭素につながる行動は身近な取組でも実践できることを園児が体験(鴨居保育園、長津田保育園、十日市場保育園の3園で実施)



R5 鴨居保育園グリーンカーテン

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

21 読書活動推進事業

500千円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めていきます。

(1) 赤ちゃんからお年寄りまで本に親しむ環境づくり

- ア 青少年向け読書啓発事業「中学生選抜！私の推し本」
- イ おはなし会ネットワークの支援
- ウ 緑図書館におけるCDブック貸出事業
- エ 区民まつりにおける読書啓発イベント「本の交換会」

(2) ボランティアの育成

- ア 中高生図書館ボランティア体験事業（8月3日）
- イ 横浜創英大学との協働事業（司書による読み聞かせ講座（7月4日）、大学生によるおはなし会（11月））

(3) ネットワークを活かした家庭・学校での読書活動の推進

地区センターにおける赤ちゃん絵本セット貸出事業

(4) 区の特성에応じた読書活動の推進

- ア 読書活動推進連絡会の開催（第1回 7月28日）
- イ 読書まっぷ（第二次読書活動推進目標）配布
- ウ まちライブラリー支援事業 等



R5 中高生図書館ボランティア体験の様子

22 緑・芸術文化事業

2,160千円

区民が芸術文化を通じて創造性のある心豊かな暮らしができるよう、身近な場で多様な表現活動に触れることのできる機会確保を目指し、地域芸術文化団体の活動を支援します。

また、表現活動を実践する新たな人材の確保・育成を図るため、より裾野を広く区民が文化芸術に興味を持てる機会の提供を行い、緑区内における文化芸術振興を図ります。

(1) 緑・芸術文化活動支援事業

- ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援
 - (ア) 緑区民音楽祭実行委員会
安価で質の高い演奏会の開催
第141回ふれあいコンサート「ブラスの饗宴」（6月4日 みどりアートパーク）
 - (イ) 緑区コーラスの会
第44回緑区コーラスのつどい（10月22日 みどりアートパーク）
 - (ウ) GROUP 創造と森の声
森ラボ2023（森の美術展、ワークショップ等）
（4～5月、9～10月 里山ガーデン、横浜動物の森公園植物公園予定地）
 - (エ) 公募事業を対象とした支援（文化芸術イベントが対象）
共催9件、後援7件
- イ 区庁舎1階イベントスペースを活用した区民文化振興
 - (ア) 「お昼のロビーコンサート」開催
年4回、緑区民文化センターと連携開催
（8月、10月、12月、3月）



R5 提案型ロビーイベント（タヒチアンダンス）

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (イ) 「サークルミニギャラリー」開催
年6回、区内文化系団体による展示（絵画・写真等）
（5月、6月、8月、11月、1月、3月）

(2) 交流と人材育成

- ア 提案型ロビーイベントの実施（年6回）
イ 芸術文化活動の振興を目的としたイベントの実施
若年層を対象としたワークショップ等のイベント開催（下半期）

23 3R推進事業

2,258千円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、「食品ロス」・「プラスチックごみ」削減の啓発に重点的に取り組み、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開します。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催（5月）

(2) 3Rの普及・啓発

- ア 保育園等への出前講座の実施（通年）
イ 店頭キャンペーンの実施（6月、12月）
ウ 区民まつり等での啓発（通年）
エ 広報よこはま緑区版による広報（10月）
オ 緑ECO通信の自治会回覧（9月、3月）
カ 転入者向け啓発・分別相談（3月）
キ フードドライブの推進（通年）



東洋英和女学院大学と連携した
フードドライブ啓発

- (ア) 区民まつりでのフードドライブ実施
(イ) 区内でフードドライブに取り組む企業や学校等に食品回収ボックスなどの物品を貸し出し
ク みどりプラスチックチャレンジ（東洋英和女学院大学連携・協力事業、7月～10月）
日常生活でのプラスチック依存の状況を知るとともに、なるべくプラスチック製品に頼らない生活にチャレンジし、その様子をインスタグラム等で発信

24 きれいなまちづくり事業

2,498千円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開します。

(1) 花いっぱい活動事業

地域と協働して季節の花苗を沿道に植栽（5月、11月）

(2) 地域ふれあい活動事業

- ア 地域清掃を行う団体等への支援（通年）
イ 不法投棄対応（通年）

(3) 駅さわやか活動事業

- ア 中山駅・十日市場駅周辺及び区庁舎周辺の清掃
(ア) 中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃（5月、11月）
(イ) 十日市場駅周辺清掃（11月）



駅頭でのポイ捨て禁止キャンペーン

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (ウ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃（隔月）
- イ 駅頭でのポイ捨て禁止キャンペーンの実施
中山駅（5月、11月）、十日市場駅（6月、11月）鴨居駅・長津田駅（6月）
- ウ みどりサンタプロジェクト2023の開催
サンタ帽をかぶって行う、小学生と大学生による地域清掃活動（12月）

25 緑区商店街振興事業【再編】

3,000千円

消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、商店街ならではの魅力を地域の消費者に再発見してもらうことで、集客力を高め、地元商店街の活性化につなげていきます。

(1) Midori Smile Mall 事業【新規】

区商連加盟店で一定額の買い物をした方に抽選で景品をプレゼントする「Midori Smile Mall キャンペーン」や、商店街の魅力的な写真を広く募集し、優秀作品に商店街ゆかりの品等をプレゼントする「Midori 商店街 Smile フォト」など、商店街の活性化や魅力発信につながる事業を「Midori Smile Mall 事業」として実施



R4 キャンペーンチラシ

26 区民まつり事業

6,500千円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、多くの企業等の皆様の応援をいただきながら、様々な世代が参加する「緑区民まつり」を開催します。（10月15日 県立四季の森公園、緑区役所・緑公会堂）



緑区民まつり2022

開催に向けて、実行委員会へ補助金を交付するとともに、会場内での新型コロナウイルス感染症対策の実施や緑区民まつりPRのためのポスター、リーフレットを作成します。

27 地域振興事業【拡充】

2,529千円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切に、地域との良好な関係を構築します。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長を表彰します。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長感謝会を開催し、自治会長5年在職者を区長から表彰

なお、10年以上の自治会長については15年、20年と在職5年毎に市長から表彰（3月）

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向け、転入者へのご案内のほか、個別の自治会の求めに応じて自治会と連携した取組を推進

(4) 担い手育成事業【新規】

自治会加入促進と併せ、自治会の活性化に向けて、担い手の育成（9月）や自治会活動への参画を促す講演会等を実施



自治会加入促進リーフレット

28 市民活動パワーアップ支援事業【重点】

4,162千円

緑区市民活動支援センター「みどりーむ」を拠点に、緑区市民活動支援センター運営委員会と協力し、区民主体による魅力ある地域づくりや自立的な市民社会の形成を目指した事業を実施します。

また、緑区における公益的な活動や地域課題解決への取組を支援するため、地域の公益的活動に対して補助金を交付します。

(1) 講座・セミナー開催事業

- ア 市民活動セミナー（9月16日予定）
- イ 防災・減災講座（7月30日）
- ウ 地域福祉講座（1月予定）
- エ ちょっと先生の夏休み子ども体験講座（8月3日～6日）
- オ ちょっと先生のチャレンジ講座（10月1日予定）

(2) 市民交流事業

- ア みどり市民活動交流会 令和6年3月予定
- イ サロンふらっと（4月16日 24人、6月11日 21人、8月、10月、12月、2月）
- ウ みどりーむまつり（3月予定）
- エ Open!みどりーむ（7月15日 18人、10月、2月）



R5 サロンふらっとの様子

(3) 生涯学級事業

- ア 「横浜線ものがたり」連続講座 17人（①のみ公開講座 32人）
 - ① 4月8日、② 4月21日、③ 5月12日、④ 5月26日、⑤ 6月9日、⑥ 6月23日
- イ 「自然を楽しむ講座」連続講座 15人
 - ① 4月11日、② 4月25日、③ 5月9日、④ 5月23日、⑤ 6月6日
- ウ 家庭教育学級
- エ 地域デビュー講座

(4) 緑区内地域施設間連携（ミドリネット）

緑区地域施設間連携会議及び研修会の開催（9月、3月）

(5) 緑区市民活動支援センターのコーディネート機能の強化

区内施設や団体と協力して講座等を開催し、相互連携を深める。

(6) 緑区地域課題チャレンジ提案事業

公益的活動に対する補助金の交付（17団体）、うち脱炭素化に寄与する活動に対する補助金の交付（4団体）

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(7) ばそこんひろば@みどり事業

- ア パソコン・スマホ相談コーナー「めだかの学校」の開催
(毎週火・木・土曜日 緑区市民活動支援センター)
- イ パソコン・スマホ初心者対象の講習会「めだか塾」の開催
(毎月1回 緑区市民活動支援センター)
- ウ パソコン・スマホの機能を学ぶ講習会「IT講習会」の開催
(月1回 緑区市民活動支援センター、各地区センター)

29 みどりスポーツ振興事業

1,854千円

区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行うとともに、気軽にスポーツ文化に楽しむことができるイベント等を区としても実施し、区民がより健康で多様な豊かな暮らしができる環境づくりを進めます。

(1) 緑区スポーツ協会事業

加盟する各団体等(14団体、3関連団体)の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

(2) みどりスポーツフェスティバル事業

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区スポーツ協会の3者による、誰もが気軽に様々なスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援(5月28日 緑スポーツセンター、488人)



R5 みどりスポーツフェスティバル

(3) 緑区ランニングフェスタ事業

地域のスポーツ団体の協力により実施する、誰でも気軽に走る楽しさを感じられるランニング事業(12月)

(4) みどりスポーツ振興事業

- ア プロスポーツチーム連携事業(冬季)
- イ スポーツ体験会や講習会等(冬季)

30 広報・広聴事業

2,436千円

(1) みどり区区民生活・防災マップ事業

区内の公共施設や医療機関、地域防災拠点、地震・風水害情報等を掲載したマップを転入者等に配布

(2) 広報発信力アップ事業

- ア 迅速に情報が提供できるウェブサイトの長所を生かし、緑区ウェブサイト・緑区ツイッター・横浜市LINE・民間広報媒体と協力した情報発信を実施。併せて区庁舎2階の情報モニターを活用し、来庁者への広報も行う。
- イ 区内4駅6か所のPRボックスに、広報よこはま区版の特集ページの掲出と追加補充、区の事業に関するチラシの配架(毎月)
- ウ 組織的なプロモーション力の強化を目的として、区職員を対象とした「デザイン基礎研修」を実施(6月)

令和5年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 緑区役所意見箱運営事業

区庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上を図る。

(4) 緑区「ふれ愛トーク」事業

緑区内で地域活動を行う団体と区長が活動内容等について意見交換し、その概要をウェブサイト等で紹介

31 区民から親しまれる区役所づくり事業

5,091 千円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行います。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する研修を実施し、窓口接遇スキルの向上を図る。

(2) 人権啓発・職員研修事業

ア 偏見や差別を自分自身の問題として捉え、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施（12月）

イ 職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図る。

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、表彰を実施

(4) 緊急的課題への対応

来庁者に快適に過ごしていただけるよう庁舎の美化・緑化の推進、より利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備等

(5) 緑区データ集作成事業

人口増減や年齢別人口など、区の統計データをまとめたデータ集「教えてみどり」を作成し、データをホームページで公開



緑区こもれび躍るふれあいのまちづくり顕彰（緑公会堂）

令和 6 年度 緑区予算編成の考え方

緑区は豊かな自然の中で、地域の皆さまの温かい「つながり」が息づく、みんなにやさしい魅力あふれるまちです。これは、区民の皆さまの継続した活動により大切に育まれてきたものであり、この魅力あふれるまちを次世代に引き継いでいく必要があります。

「横浜市中期計画2022～2025」では「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」を基本戦略としています。緑区においても、「住みたいまち」「住み続けたいまち」を目指し、区民の皆さまの声に寄り添いながら、妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援の充実、地域コミュニティが継続できる環境整備に取り組みます。

また、GREEN×EXPO 2027の成功とその先を見据え、地域や関係団体、企業、大学等と連携しながら、デジタル化の推進、SDGsや脱炭素社会の実現に向けた取組を推進し、区民の皆さまに一層信頼される区政運営を実現していきます。

令和 6 年度の緑区予算編成では、次の 3 つの柱に沿って、地域の課題解決に向けた事業・取組を着実に進めていきます。

1 安全・安心なまち

2 いきいき暮らせるまち

3 みどりの魅力あふれるまち